



副院長就任のご挨拶

飯塚市立病院

総合支援センター
NEWS

令和7年度

Vol.1-1



副院長

中村 俊博

Nakamura Toshihiro
内科(循環器内科部長)

◆担当専門領域◆

循環器内科

◆所属学会◆

- ・日本内科学会 ・日本循環器学会
- ・日本不整脈心電学会
- ・American Heart Association
- ・American College of Cardiology
- ・Heart Rhythm Society
- ・European Society of Cardiology
- ・European Heart Rhythm Association
- ・Asia Pacific Heart Rhythm Society

◆専門医、指導医、他資格◆

- ・日本内科学会 総合内科専門医、指導医 ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本循環器学会 循環器専門医 ・日本不整脈心電学会 不整脈専門医
- ・植込み型除細動器・ペースングによる心不全治療登録医 ・日本医師会 認定産業医
- ・日本不整脈心電学会 九州・沖縄支部役員 ・タファミジス処方認定医師
- ・福岡県医師会学校心臓検診副部長 ・福岡市医師会学校心臓検診副部長

◆副院長より皆様へ◆

この度、飯塚市立病院の副院長および循環器内科部長に就任いたしました中村俊博でございます。私は久留米大学心臓・血管内科（旧第三内科）の出身であり、前任地は国立病院機構九州医療センターです。同病院では開院以来31年間、循環器内科医として特に不整脈診療を専門に従事してまいりました。

飯塚市立病院は、地域医療支援病院として紹介患者への医療提供、救急医療の確保、放射線モダリティの共同利用、地域の医療従事者への研修実施、へき地医療支援など多岐にわたる役割を担っております。そのような医療環境の中で私の専門である不整脈診療の経験を活かし、当院の循環器内科診療の充実を図り、地域の皆様に信頼される医療を提供できるよう努めてまいります。また、不整脈のみならず、虚血性心疾患、弁膜症、心筋症、心不全などの心臓病に加え、大動脈疾患や下肢の動脈・静脈疾患まで、幅広い心臓血管系疾患の診断・治療を行ってまいりたいと考えています。

今後も、地域の医療機関やかかりつけ医の先生方との連携を深め、地域医療の発展に寄与してまいりますので、皆様のご支援・ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。



令和7年度 新任医師について

飯塚市立病院

総合支援センターNEWS

令和7年度
Vol.1-2



令和7年度となり、下記の医師が新しく着任しました。
今年度も地域の医療機関の先生方と連携を図り、地域の中核病院としての機能を果たせるよう努めてまいりますので、ご協力、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

副院長	: 中村 俊博(循環器内科部長)
内科	: 足立 達彦、内田 壮平、高木 爽太郎、長 捺希
外科	: 福田 展大
整形外科	: 阿南 亨弥、藤原 久徳、田村 一真
放射線科	: 白石 直孝



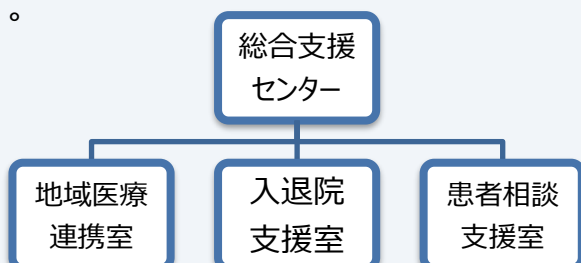
総合支援センターの開設について

本年度より前方支援、後方支援に携わる窓口の組織名を『総合支援センター』に変更しました。

新しい総合支援センターは、地域の諸先生方とのスムーズな連携を行う「地域医療連携室」、患者さんの入退院に関わり様々な支援を行う「入退院支援室」、患者さんからの各種相談支援を行う「患者相談支援室」で構成されており、各室のメンバーも拡充しております。

- ※センター長は病院長の大堂が務めます
- ※副センター長2名(看護、事務)と参与職を新しく配置
- ※地域医療連携室に看護主任を新しく配置
- ※患者相談支援室は地域医療連携室と同メンバーとなります

引き続き、地域の皆様が安心して適切な医療を受けることができるように、『病病・病診連携』により一層力を入れて参ります。



地域医療連携室
患者相談支援室



入退院支援室